

## 執筆紹介

永井崇弘 (NAGAI Takahiro)

1970年大阪府生まれ。

福井大学学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域准教授。

関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程中退。修士(文学)。

専門領域：中国語学。

漢訳聖書に関する主要論文：「关于19世纪初在印度翻译的汉译圣经及其译者和底本—拉沙的马太福音汉译本—」(『福井大学教育・人文社会系部門紀要』第4号、2020年)、「近代汉译新约圣经中“λόγος”一词翻译的形成及其对日译圣经的影响」(『福井大学教育・人文社会系部門紀要』第3号、2019年)、「关于马礼逊与马士曼所依据的新约圣经希腊文本」(『福井大学教育・人文社会系部門紀要』第2号、2018年)。

塩山正純 (SHIOYAMA Masazumi)

1972年和歌山県生まれ。

愛知大学国際コミュニケーション学部教授  
関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。博士(文学)。

専門領域：中国語学。

漢訳聖書に関する主要論著：『初期中国語訳聖書の系譜に関する研究』(白帝社、2013年)、「聖書のなかの時間表現と漢語文理訳」(『関西大学東西学術研究所紀要』第51輯、2018年)、「浅论马礼逊汉语著作中的数量(量词)表现」(浙江大学出版社『现代汉语的历史研究』、2015年)。